

第16回

九州大学 理学部生物学科 公開講座

生物学の おもしろさを 伝えたい

-研究の最前線から-

九州大学理学部生物学科では、高校生や市民のみなさんを対象にして、生物科学の現状をわかりやすく紹介しています。ふるってご参加下さい。

遺伝情報をまもり、つたえる仕組み

高橋 達郎（染色体機能学研究室・准教授）

子が親に似るのは親の遺伝情報を子が受け継ぐから。これは一般常識としてよく知られています。遺伝情報が傷つくと、がんなどの病気の原因になることもよく知られています。では遺伝情報はどのようにして守られ、どのようにして次の世代につたえられているのでしょうか。遺伝情報はDNAに記録されています。遺伝情報をまもり、つたえる仕組みとはつまり、化学物質としてのDNAを、まもり、コピーし、つたえる仕組みということです。本講座では、今まさに解明されつつあるこの神秘的な仕組みのあらましを、私たちの最新の研究をまじえながらお話しします。

花の性から広がる多様な世界

矢原徹一（生態科学研究室・教授）

花にはおしべとめしべがあり、昆虫などによって花粉が運ばれることによって、種子が実ります。しかし中には、セイヨウタンポポやフジバカマのように、無性生殖によって種子が実る場合もあります。無性生殖には一個体でも繁殖できるというメリットがあります。では、多くの生物がオスとメスという性を持ち、有性生殖を行うのはなぜでしょうか。一方で、有性生殖をおこなう花は、多種多様な形・色・匂いを持っています。このような花の多様性は、どのようにして進化したのでしょうか。花の性に注目しながら、植物がいかに巧みに生きているかについて紹介します。

日時：2017年8月12日（土）13：30～16：00（講演会）

場所：九州大学伊都キャンパス センター2号館・4階 2403号室

・JR 筑肥線・昭和バス利用：九大学研都市駅（地下鉄に接続）から九大行きのバスに乗り、ビッグオレンジ前で下車。

・西鉄バス利用：博多駅、天神バスセンターから伊都キャンパス行きのバスに乗り、ビッグオレンジ前で下車。

アクセス情報・マップ：<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/ito/>

対象：高校生および市民

定員：約300名 参加費：無料 参加申し込み：不要

主催：九州大学大学院理学研究院・生物科学部門

連絡先：仁田坂英二（092-802-4266） 中條信成（092-802-4269）